

# Book Review



## 新版 最新歯周病学

加藤 熙 編著

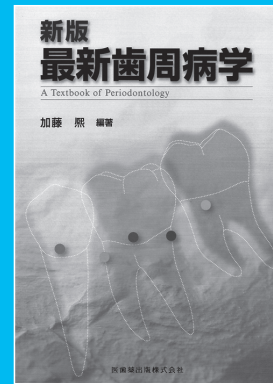


Reviewer

池田雅彦

(札幌市・池田歯科クリニック)

A4 判, 368 頁  
定価 22,050 円  
(本体 21,000 円+税 5%)  
医歯薬出版刊



このたび、北海道大学名誉教授加藤熙先生が1994年に出版し、好評で7刷を重ねた『最新歯周病学』の改訂版ともいえる『新版 最新歯周病学』が出版された。加藤先生は、大学を退官された現在も、臨床・研究・講演・後輩への教育活動など大変に御活躍中である。

本書の特長は、まず著者が序文で述べているように、内容のフィロソフィーが一貫しているところである。欧米の有名な成書も基本的には共著であり全体的に統一感に欠ける場合もみられる。次に基礎的な研究と臨床のケースがうまくエンゲージするように書かれていて、基礎の研究者にも臨床的な示唆を与えるようになっており、臨床家にとっても臨床の課題の基礎的な理解ができるようになってきている。さらに基礎的な研究内容は、加藤先生と加藤先生の指導や共同で研究されたことが軸になっており、それらに欧米の知見も加えて豊富な内容となっている。ともすれば欧米の理論に自身のケースを合わせるといったものが多いなかで、臨

床ケースも著者の長期観察のものが中心になっており、しかも著者の研究のコンセプトの延長線上に沿った貴重な内容となっている。

今回の本は、1994年版の内容に多くの新しい情報が加えられ、ペリオドンタルメディシンの章をはじめとして歯周病と全身疾患との関係およびリスクファクターが述べられている。さらに愛弟子である福岡歯科大学の坂上竜資教授、北海道大学の菅谷勉准教授と共同で書かれた「垂直歯根破折による歯周病変と治療」と「歯周病患者におけるインプラント治療」の2章が追加されている。

「垂直歯根破折による歯周病変と治療」の章は他書にない内容となっている。垂直歯根破折は長期に臨床を行っているとき非常に重要な課題であり、その原因や対応法を知ることが治療効果の長期維持のために不可欠である。垂直歯根破折の原因論を含めた基礎的な研究に加えて臨床的な対応法が書かれており、基礎分野の研究者にも臨床家にも役立つ内容となっている。

インプラントは、歯周病患者の治療のオプションとして不可欠になりつつあるが、歯周病患者は歯周病に罹患していない患者に比較して予後が良くないといわれている。「歯周病患者におけるインプラント治療」の章では、これらを踏まえながら基礎的なことから臨床ケースまで解説されている。

さらに著者は、歯周病治療におけるMTM（限局矯正）の研究の第一人者である。MTMは重度歯周病の治療には欠かせない技術の1つであるが、その基礎的な考え方とともに臨床術式などが述べられ、長期のケースが提示されている。MTMに関してさらに勉強したい方は、加藤先生による『臨床家のための歯周病患者の局所矯正治療』（2007年、医歯薬出版）を読まれることを勧める。

本書は、学生の教科書として優れているとともに、大学の研究者、また私のような開業臨床家にとっても必読の書である。多くの歯科関係者に読まれその成果が多くの患者さんに利益をもたらすことを願って読後感とする。